

プログラム

2020年2月7日(金)

— 別館 1F 利根大会議室 (淀・信濃) —

9:30~9:40 開会式

9:40~10:40 演題群-1 肺がん検診

座長: 鳥居 陽子 (東京都保健医療公社 東京都がん検診センター 呼吸器内科)

- 1-1 Never-SmokersのCT肺がん検診Stage(病期)分布からの有効性予測
飯沼 武 (QST放射線医学総合研究所)
- 1-2 米国の高齢者肺癌の病期分布による有効性予測
飯沼 武 (QST放射線医学総合研究所)
- 1-3 低線量CT肺がん検診の無作為化比較試験参加者への健康関連QOLアンケート調査 (SF-8)
須藤 恵美 (東北医科薬科大学 光学診療部)
- 1-4 当クリニックが実施する肺がん検診の取り組みと満足度調査の報告
工藤 直人 (医療法人康曜会 プラーナクリニック 医療技術部 放射線科)
- 1-5 JECs研究参加施設のCT画質評価
小林 健 (石川県立中央病院 放射線診断科)

10:50~12:02 演題群-2 被ばく低減

座長: 長島 千恵子 (国立がん研究センター 中央病院)

- 2-1 自動露出機構を使用した低線量胸部CTにおける体格と線量および画像ノイズとの関係
潤間 隆宏 (保健会 谷津保健病院 呼吸器内科)
- 2-2 位置決め画像の撮影条件がCT-AECに与える影響
棚田 丈雄 (山形大学 医学部附属病院 放射線部)
- 2-3 CT-AECに最小限必要な位置決め撮影の被ばく線量
佐藤 俊光 (山形大学 医学部附属病院 放射線部)
- 2-4 逐次近似再構成技術を用いた低線量胸部CTにおける撮影条件の検討
入江 剛弘 (一般財団法人 京都工場保健会)
- 2-5 低線量肺がんCT検診における位置決め画像撮影の検討
鈴木 千晶 (聖隷福祉事業団 聖隷三方原病院)
- 2-6 超低線量CTでの被ばく低減と画像比較
鳥居 陽子 (東京都保健医療公社 東京都がん検診センター 呼吸器内科)

12:15~13:15 ランチョンセミナー1

(共催: 独立行政法人 環境再生保全機構)

座長: 三浦 溥太郎 (公益社団法人 地域医療振興協会 横須賀市立うわまち病院)

- L1-1 石綿関連疾患の診断精度向上のための読影
島山 雅行 (東京都結核予防会)

13:25~13:55 特別講演

座長: 土田 敬明 (国立がん研究センター 中央病院)

- 「超」低線量肺がんCT検診時代の到来を夢みて
中川 徹 (株式会社 日立製作所 日立健康管理センタ)

14：10～14：46 演題群-3 COPD・冠動脈・CTC

座長：満崎 克彦 (社会福祉法人 恩賜財団 済生会熊本病院 予防医療センター)

- 3-1 肺がん検診CTを用いた冠動脈石灰化解析への基礎検討
中島 広貴 (手稲溪仁会病院 診療技術部)
- 3-2 胸部CT検診データに基づいたCOPD質問票とその妥当性に関する検討
谷野 明里 (島根大学医学部 内科学講座 呼吸器・臨床腫瘍学)
- 3-3 大腸CT検査 (CTC) にて発見された40代早期大腸がん症例
椎名 利幸 (株式会社日立製作所 日立健康管理センタ 放射線技術科)

15：00～16：40 シンポジウム1 低線量CT肺がん検診は対策型検診として導入できるのか？

座長：中山 富雄 (国立がん研究センター 社会と健康研究センター)

座長：西井 研治 (岡山県健康づくり財団付属病院)

「低線量CT肺がん検診の対策型検診に向けての課題」

- S1-1 我が国のがん対策・がん検診について
堤 翼 (厚生労働省 健康局がん・疾病対策課)
- S1-2 低線量CT肺がん検診は対策型検診として導入できるのか？ 有効性評価研究の現況から
佐川 元保 (東北医科薬科大学 光学診療部)
- S1-3 読影医師は確保できるのか？～長野県の実状から考える～
丸山 雄一郎 (JA長野厚生連 浅間南麓こもろ医療センター 放射線科)
- S1-4 肺がんCT検診認定技師の現状分析による対策型検診に向けた課題
山口 功 (肺がんCT検診認定機構 技師認定委員会)
- S1-5 低線量CT肺がん検診の対策型検診に対する手術件数増加と外科医の対応について
垣花 昌俊 (東京医科大学 呼吸器・甲状腺外科学分野)

16：50～17：20 教育講演1

座長：佐川 元保 (東北医科薬科大学 光学診療部)

「孤立肺結節の鑑別診断とマネジメント」

芦澤 和人 (長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 臨床腫瘍学)

— 別館 1F 利根大会議室 (木曽) —

17：30～19：30 懇親会

— 別館 3F 六甲 —

12：15～13：15 理事会

2020年2月8日(土)

— 別館 1F 利根大会議室 (淀・信濃) —

9:30～10:18 演題群-4 コンピュータ支援

座長：鈴木 雅裕 (イーメディカル東京 遠隔画像診断センター)

- 4-1 Deep Learning を用いた肺結節自動検出モデルの開発：
LIDC 及び国内データを用いた Internal/External Validation
大塚 裕次郎 (順天堂大学医学部附属順天堂医院 放射線科・部、ミリマン・インク、プラスマン合同会社)
- 4-2 人工知能を用いた 3D Computer-Aided Volumetry (CADv) の
肺結節経過観察 CT における有用性に関する検討
大野 良治 (藤田医科大学 医学部放射線医学教室、同 医学部先端画像診断共同研究講座)
- 4-3 肺野すりガラス結節 (GGN/SSN) の CT 値平均差計測の零補正・位置補正の試み
古泉 直也 (新潟県立がんセンター新潟病院 放射線診断科)
- 4-4 長期経年低線量 CT 画像解析による肺気腫の進展関連 SNP の同定
鈴木 秀宣 (徳島大学大学院 社会産業理工学研究部)

10:30～11:35 シンポジウム2 CT検診における線量管理

座長：村松 禎久 (国立がん研究センター 東病院)

- S2-1 CTの線量管理に必要な知識
野村 恵一 (国立がん研究センター 東病院 医療情報部)
- S2-2 CT検診における線量管理
金岩 清雄 (神奈川県予防医学協会 放射線技術部)
- S2-3 大腸CT検診における線量管理
赤井 亮太 (医療法人豊田会 刈谷豊田総合病院)

11:35～12:00 ポスター発表

座長：小林 健 (石川県立中央病院 放射線診断科)

- P-1 肺がんCT検診における%LAAを利用したCOPD発見に寄与する因子の検討
坂本 周三 (公益財団法人 宮城県結核予防会)
- P-2 当法人における肺がんCT検診の実績
肥田 泰三 (公益財団法人 宮城県結核予防会 放射線科)

12:00～13:00 ランチョンセミナー2 (共催：シーメンスヘルスケア株式会社)

座長：中川 徹 (日本CT検診学会 理事長)

- 「低線量肺がんCT検診の普及に向けて～最新CTテクノロジー～」
- L2-1 Siemens HealthineersのAI画像診断支援技術開発事例
岩田 和浩 (シーメンスヘルスケア株式会社 デジタルヘルス & SYNGO 事業部)
- L2-2 質の高い検査と低被ばく撮影を目指して
前田 清澄 (社会医療法人誠光会 草津総合病院 放射線診療センター)

13:10～13:50 日本CT検診学会 総会

14：00～14：30 教育講演2

座長：土田 敬明 (国立がん研究センター中央病院)

「がん検診における大腸CT検査の意義」

服部 昌志 (医療法人 山下病院 消化器内科)

14：40～16：40 シンポジウム3 低線量CT肺がん検診の現状と今後～課題と解決策を探る～

座長：丸山 雄一郎 (JA長野厚生連 浅間南麓こもろ医療センター 放射線科)

座長：牛尾 哲敏 (滋賀医科大学附属病院 放射線部)

S3-1 低線量CT肺がん検診における至適撮像法の確立とCADおよび人工知能の活用

大野 良治 (藤田医科大学 医学部放射線医学教室)

S3-2 じん肺検診への低線量CT導入の費用対効果評価

五十嵐 中 (横浜市立大学 医学群 健康社会医学ユニット、東京大学大学院 薬学系研究科医薬政策学)

S3-3 低線量CT検診 (LDCT) 導入のその後—アメリカの場合

滝口 裕一 (千葉大学医学部附属病院 腫瘍内科)

S3-4 本邦における撮影・読影・実施施設の精度管理の課題

—本邦における肺がんCT検診認定制度の現状と課題—

村田 喜代史 (洛西ニュータウン病院 放射線科)

16：40～16：50 閉会式